

令和4年度（補正予算）

関係人口創出・拡大のための対流促進事業 （中間支援組織の提案型モデル事業）

事業の実施結果 （概要）

団体名	株式会社 山学ギルド
事業名	罾猟体験ツアーと罾の共同保有 ～ジビエで繋がる山と街

- ・ 罾猟体験と罾の共同保有サービスを通じて、有害鳥獣による地域及び食肉としての利用の課題や消費者の食倫理の課題に同時にアプローチをする。ジビエを通じて、地域と都市をつなぎ、関係人口の創出・拡大を目指す。

主な活動内容

1. 罾猟体験ツアーの実施

- ・ 捕獲の様子や個体の情報を伝えるジビエ食、県内の防獣の取り組み、罾の見回りや設置体験、革を利用したワークショップなどを通じて、食肉を消費するまでの工程を迫体験し、「いただきます」の意味をともに考えるツアーを実施。

2. 罾の長期保有プランの仮実施

- ・ ツアーの際に猟師とともに参加者が設置体験した罾をその後も設置し続け、捕獲の際は情報を共有し、その肉の一部を送付するプランを実施。
- ・ そこからの反応を基に、実際の保有期間や情報発信の頻度、費用感を検討した。



解体・精肉を体験する様子



畑や林の獣害を見学する様子



罾の設置を体験する様子



革をつかったワークショップの様子

主な成果

1. 罾猟体験ツアーのニーズ検証ができた

- ・ 主に首都圏から27名の参加があり、小学生から50代まで幅広い年齢層となった。
- ・ 参加者アンケートでは全員から満足度に満点をいただき、狩猟にまつわる食体験にニーズがあることが確認できた。

2. 罾の長期保有プランのニーズ検証ができた

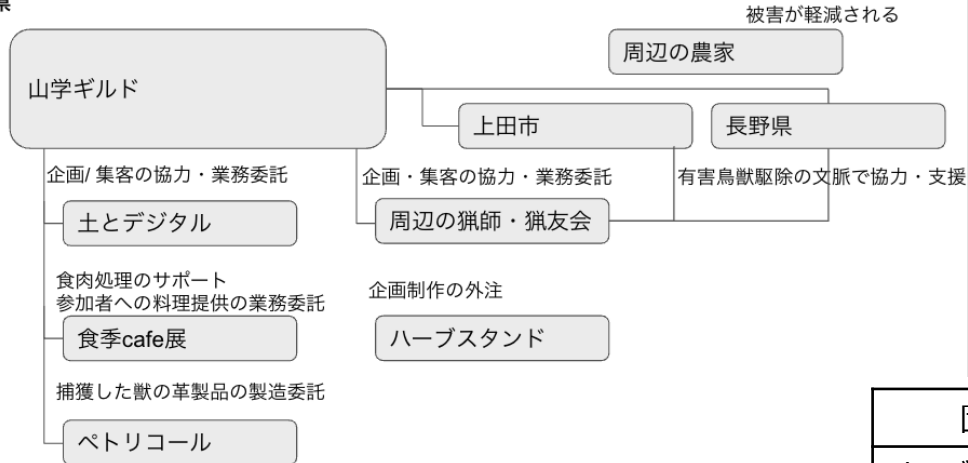
- ・ 約75%の参加者が実際に購入したいと答えた。
- ・ 罾設置体験の際、プラン紹介前にも関わらずに複数の参加者から保有したいと提案してくれるなど、ニーズがあることが確認できた。

3. 参加者と街とのつながりを構築できた

- ・ ツアー後、約50%の参加者が「自主的にまた来たい」と答え、その他も「機会があれば来たい」と答えた。

事業実施体制・関係機関

長野県



他地域

長野県内の別市、山梨、
岐阜、熊本が候補にあ
がっている。

県外の猟師

他地域プレイ
ヤー

団体名	役割
土とデジタル	ツアー内容企画・集客
食季カフェ展	食肉処理講師
ペトリコール	革製品ワークショップ講師
ハーブスタンド	森林樹木・草木等情報取りまとめ

食や環境に関する取組状況

- 参加者・農家**：ツアーでは、農家視点での野獣における農林業の課題をさまざまな体験を通じて紹介。都市部の人に課題の深刻さを伝えることができた。
- 参加者・猟師**：アニマルトラッキングや、罠設置場所の選定を一緒に行なうことで、狩猟の奥深さと里山の楽しさを伝えた。また、捕獲後の工程や食肉利用率を上げるための課題、命を頂くことの重さを参加者とともに考えた。
- 参加者・料理人**：ツアーの中で、昼・夕・翌朝と3度鹿を食べてもらい、適切に処理した鹿肉のおいしさを体感して頂いた。また精肉体験を通じて、肉が食卓に上がるまでの労力についても経験してもらった。
- 参加者・地域**：上田地域の特徴や、ツアー後に具体的な店舗を紹介することで、実際に足を運んでもらい、現地の店や人と交流を図ってもらった。



次年度以降の事業展開

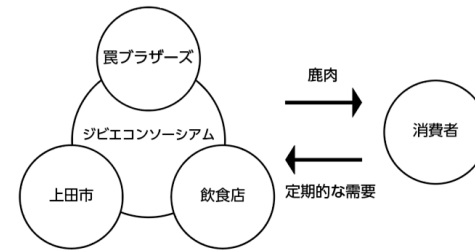
- ツアーに細かな改訂を加えてブラッシュアップを図りつつ、罾の長期保有の一般販売も開始予定。オンラインの保有を通じて、当初の予定通りツアー参加者の上田市再訪および未参加者の上田市来訪の機会の創出を狙う。
- ツアーを今後も継続することで、都市部の人々が上田に来る機会を創出し続ける。ツアーの満足度は想定より高く、上田への関心も十分に生み出せており、改善を続け長期的継続することで、関係人口に対しての具体的な寄与が狙えるはず（例：仕掛けた罾のチェックのため上田に来る。狩猟免許取得を決め、自然と共生する生活にあこがれて上田に移住など）。
- ツアーを訪日外国人向けにも販売することで、上田の住民が誇れる上田市を実現する。そのために、軽井沢など上田周辺を訪れている外国人にリーチする手段を確立する。また同時に、「上田といえば鹿肉」というイメージをまずは住民が持てるように、上田での鹿肉の消費量を増やす。そのために、上田市内での鹿肉を用いたキャンペーンの開催や、上田市内の飲食店への鹿肉の販売、上田市との連携などに取り組む。

【ツアー・長期保有関連】

- 2024年3月：罾の長期保有の一般販売を開始
- 2024年3月：訪日外国人へのアプローチを開始
- 2024年5月：長野県内からの来客数を10人/月に
- 2024年10月：長期保有者数を40名に
- 2024年12月：宿泊施設を3倍程度に拡大

【その他】

- 2024年中：連携する猟師を5名→10名に
- 2024年中：長野県内の飲食店10店舗と提携



(千円)	費目	R6	R7
支出	罾ブラザーズ（単発）	1,000	1,200
	ツアー	300	360
	罾ブラザーズ（通年）	700	840
	その他	1,600	1,920
収入	罾ブラザーズ（単発）	2,000	3,000
	ツアー	600	900
	罾ブラザーズ（通年）	2,000	3,000
	その他	500	750

自立・自走化にあたっての課題

- 現在、宿泊場所の規模により、宿泊人数が6名だが、事業実施期間中も最大人数に達して断らざるを得ない予約があり、宿泊場所の規模拡大が急務となる。しかし、事業規模がまだ小さく、宿泊場所への投資が難しいことが課題である。
- 食肉利用率の向上・獣害の削減は、上田市の経済に好影響をもたらす試みだが、現状上田市とはコンソーシアムが設立できていない。民間の事業者には大きすぎる課題なので、上田市との協業が必須となる。